

そこには 様々な

コミュニケーションがあります。

弦楽アンサンブルから

他では聴くことのできない

楽器の組み合わせまで、

「音」の世界を

コミュニケーションから生まれる



第1回【アンサンブルへようこそ】
2005年 6月4日(土) 15:00開演

第2回【プラス・アンサンブルの愉しみ】
7月23日(土) 18:00開演

第3回【デュオの妙 新たな音が生まれる瞬間】
10月1日(土) 15:00開演

第4回【東と西、時代を超えてみると?】
11月26日(土) 15:00開演

第5回【新しき室内樂への道】
2006年1月21日(土) 15:00開演

会場 京都芸術劇場「春秋座」

春秋座アンサンブル・シリーズ

アンサンブル……そこには様々な“コミュニケーション”があります。

弦楽アンサンブルから 他では聴くことのできない楽器の組み合わせまで、コミュニケーションから生まれる「音」の世界をお楽しみください。



全席自由 一般 3,000円

学生&ユース 2,500円

*ユースとは25歳以下のことで、

*学生証または年齢のわかるものをご提示ください。

*就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

*当日500円増

★ご来場回数が増すごとにチケット料金が200円ずつ割り引かれ

る、お得な「リピート割引」があります。

★2回目以降のご購入の際には 初回購入時にお渡しするIDカードをご提示ください。

★「リピート割引」は前売・予約のみに適用させていただきます。

《チケット取扱い》

○京都芸術劇場チケットセンター

075-791-8240 (平日10:00~17:00)

○電子チケットぴあ

0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>

0570-02-9966 (Pコード196-973)

*リピート割引は劇場チケットセンターのみでのお取扱いとなります。

構成・司会：有田 栄

企画協力：テレビマンユニオン

主催：京都造形芸術大学

お問合せ：京都造形芸術大学 京都芸術劇場

京都市左京区北白川瓜生山2-116

Tel 075-791-9437

京都芸術劇場「春秋座」

〒606-8271

京都市左京区北白川瓜生山2-116

■JR京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
→京都市バス5番岩倉行き乗車

上終町京都造形芸大前下車(京都駅から50分)
■京都私営地下鉄 丸太町駅・北大路駅から
→京都市バス204循環に乗車

上終町京都造形芸大前下車(約15分)

■京阪電鉄出町柳駅から

→タクシーで10分

→叡山電車に乗り換え茶山駅下車徒歩10分

■駐車場はございません。



第5回【新しき室内樂への道】

2006年1月21日(土) 15:00開演

森 悠子 長岡京室内アンサンブルメンバーより

■W.A.モーツアルト
ディヴェルティメント へ長調 K 138

■W.A.モーツアルト
セレナード(アイネ・クライネ・ナハトムジーク) ト長調 K 525
■Z.コダーリ セレナード へ長調 Op.12 ほか



長岡京室内アンサンブル

「地域ごとに独自の音色を持つオーケストラがあるヨーロッパのように、長岡京独自の音色、思想をもった演奏団体を育てたい」という理念の下、1970年代より欧米を中心に教育・演奏両面で国際的に活躍してきたヴァイオリニスト・森悠子(1999~2004年まで、ルーズベルト大学シカゴ芸術大学音楽院教授を勤めた)が音楽監督となり、国内外の各地から教え子を中心とした優秀な若手演奏家が集まり、「97年3月「長岡京室内アンサンブル」を結成。指揮や合団に頼らず互いの音を聴く「耳」を究極に研ぎ澄ました独自のスタイルを持長に、その演奏の緻密で洗練された技術と凝集力の高さ、独自の様式感覚を持った高度な表現法と音楽性の高さは、日本でも稀有な存在と高く評価されている。「02年、「03年と続けて「大阪国際フェスティバル」に出演。「00年に「第20回音楽クリエイティッククラブ賞」、「01年「エクソンモービル音楽賞・洋楽部門奨励賞」、「03年「ABC音楽賞・大賞」、「藤堂顕一郎音楽褒賞基金」、「04年長岡市より平成16年度「文化功労賞」等を授賞。」



有田 栄(ありた さかえ) 構成・司会

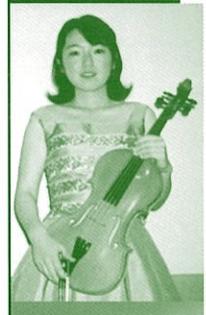
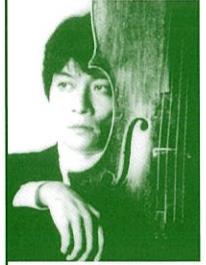
東京藝術大学音楽学部楽理科、同大学院音楽研究科修士課程を経て、同博士後期課程修了。博士(音楽学)。専門は現代の音楽・音楽美学。ルチアーノ・ベリオをはじめとする現代の「声の音楽」をテーマに研究。慶應義塾大学・昭和音楽大学・立教大学・武蔵野音楽大学非常勤講師。現在NHK-FM「バロックの森」に出演中。

第1回【アンサンブルへようこそ】

6月4日(土) 15:00 開演

上村 昇(チェロ)
北島 佳奈・梁 洋子(ヴァイオリン)
中島 悅子・三谷 彩佳(ヴィオラ)
福野 桂子(チェロ)

■F.シーベルト 弦楽五重奏曲 ハ長調 D 956
■J.ブームス 弦楽六重奏曲第1番 変ロ長調 Op.18



第2回 【プラス・アンサンブルの愉しみ】

7月23日(土) 18:00 開演

早坂 宏明・菊本 和昭(トランペット) 澤嶋 秀昌(ホルン)
岡本 哲(トロンボーン) 武貞 茂夫(チューバ)

■S.シャイト 戰いの組曲
■V.エワルド 金管五重奏曲第3番 変ニ長調 Op.7
■J.S.バッハ フーガ ト短調 BWV 578「小フーガ」
■L.バーンスタイン 「ウェストサイドストーリー」から



上村 昇(かみむら のぼる) チェロ

1975年、京都市立芸術大学卒業。'77年、第46回日本音楽コンクール第1位。海外派遣コンクール松下賞受賞。'79年京都・東京にてリサイタルデビュー。第6回カサド国際チェロ・コンクール優勝。'83年第1回京都府文化賞新人賞受賞。'86年東京・京都にてバッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を開催。'91年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、'93年フラハ交響楽団と共に演。'98年ABC国際音楽賞受賞、'01年第19回京都府文化賞功労賞受賞。ソリストとしてはもちろん室内樂の分野においても国内外の著名なアーティストたちからの信頼も厚い。また、'98年より京都府民ホール・アルティの開館10周年を記念し弦楽四重奏団(矢部達哉・豊嶋泰嗣・川本嘉子)を結成し、定期的に公演を行っている。現在、母校の京都市立芸術大学教授、桐朋学園大学客員教授として後進の指導にもあたっている。

北島 佳奈(きたじま かな) ヴァイオリン

京都市立芸術大学音楽学部を経て、現在、同大学大学院音楽研究科修士課程2年在学中。同大学定期演奏会、4芸祭合同演奏会にて協奏曲のソリストを務める。同大学交換留学生として、フライブルク音楽大学に留学。ドイツ・バーデン・ヴュルテンブルク州と奨学生となる。和歌山音楽コンクール第1位、全日本学生音楽コンクール第3位受賞。ヴァイオリンを久合田緑氏に師事。

梁 洋子(やん やんじや) ヴァイオリン

京都市立音楽高校、京都市立芸術大学を経て、現在、同大学大学院音楽研究科修士課程1年在学中。全日本学生音楽コンクール大阪大会第2位等の入賞歴を持つ。2000年京都府知事賞を受賞。また、'03年より、明治安田クリティオブライフル文化財団音楽留学生となる。'04年には、草津夏期国際音楽アカデミーで「スチュードントコンサート」など演奏会に出演する。これまでに樋口育世、田渕洋子、浦川宜也、岸邊百百雄、四方恭子の各氏に師事。

中島 悅子(なかじま えつこ) ヴィオラ

京都市立芸術大学音楽学部卒業、東京芸術大学大学院修士課程修了。在学中、芸大よりイギリスに派遣され、ロンドンの大英博物館、マンチェスター、ケンブリッジ等の各地で演奏し好評を博す。京都国際音楽学生フェスティバル、リゾナーレ音楽祭、アルゲリッチ音楽祭、木曾音楽祭等に出演。CD「南聴作品集」をデノンよりリリース。これまでに平田泰彦、馬渢昌子、店村真積、市坪俊彦、菅沼準二の各氏に師事。現在、ソロ、室内樂、客演首席奏者および神戸市室内合奏団ヴィオラ奏者として演奏活動を行なう。

三谷 彩佳(みたに あやか) ヴィオラ

第8回KOBE国際学生音楽コンクールにて優秀賞受賞し、第6回日本演奏家コンクールに入選。2001年京都市立芸術大学に入学。'02年に弦楽四重奏団を結成し、ヴィオラ奏者として同大学の定期演奏会、JTホールアフィニス「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」に出演。店村真積氏のヴィオラ公開マスタークラスを受講。これまでにヴァイオリンを西尾ヨシ子、石井志都子、木村和代、ヴィオラを平田泰彦の各氏に、室内樂を久合田緑、上村昇の各氏に師事。

福野 桂子(ふくの けいこ) チェロ

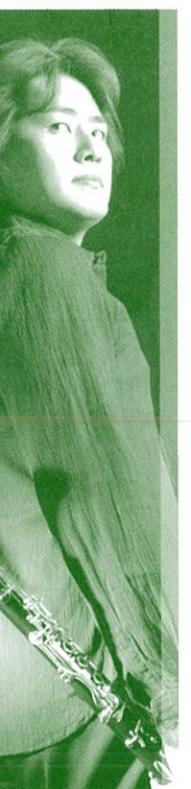
京都市立芸術大学大学院器楽研究科修了。音楽部賞、京都音楽協会賞、大学院賞受賞。第3回全日本ピバホールチェロコンクール第2位受賞。第68回日本音楽コンクールチェロ部門入選。岩城宏之指揮オーケストラアンサンブル金沢との共演、日本演奏連盟主催(文化庁助成)によるリサイタルの開催など各地で精力的な演奏活動を行なっている。これまでにチェロを小川剛一郎、上村昇、ダニエル・ウェイスの各氏に師事。

第3回 【デュオの妙 新たな音が生まれる瞬間】

10月1日(土) 15:00 開演

鈴木 大介(ギター) 鶴井 良信(クラリネット)

■J.S.バッハ 「15の2声のインヴェンション」から
■F.シーベルト アルベッジョーネ・ソナタ イ短調 D 821
■M.カルヌオ-ヴォ=テデスコ ソナチネ Op.205
■R.ニヤタリ ブラジリアーナ 第13番(ギター・ソロ)
■E.カーター グラ(クラリネット・ソロ) ほか

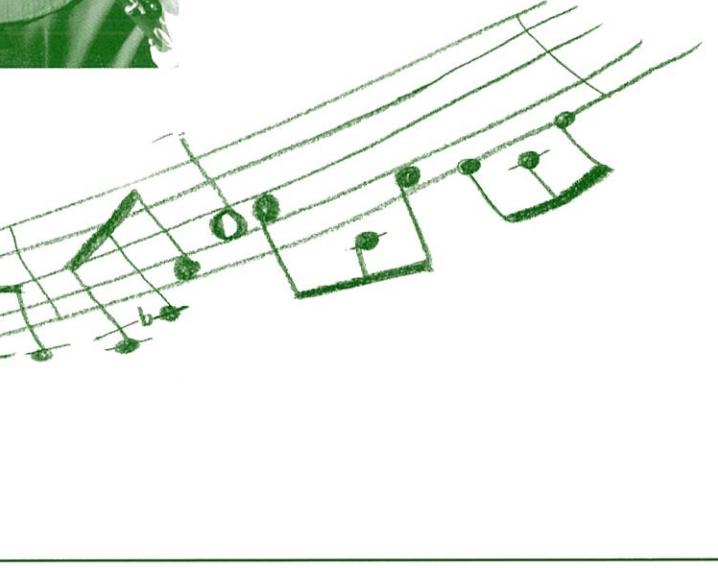


鈴木 大介(すずき だいすけ) ギター

1970年生まれ。8歳から市村員章氏に、その後福田進一、尾尻雅弘各氏に師事。また18歳からは川上哲夫、中島良史の両氏に作曲を師事。「93年早稲田大学卒業。「92年バルセロナのマリア・カナルス国際音楽コンクール・ギター部門第3位。「93年イタリアのアレッサンドリア市国際ギー・コンクール「オマジオ・ア・アンドレス・セゴビア」で優勝。「94年より1年間、文化庁派遣在外研修員としてザルツブルク・モーツアルテウムに留学、エリオット・フィスク氏、ホアキン・クレルチ氏に師事。「96年サイトウ・キネン・フェスティバルの「武満徹メモリアル・コンサート」に出演、集中力のある演奏で絶賛され、「00年~'04年も同フェスティバルに招かれる。CDに「RITO(祭礼)」「フランセーズ」「cheek to cheek」「パリオス作品集1あなたと私」「パリオス作品集2 Ay! Ay! Ay!」、渡辺香津美とのデュオを含む武満徹作品集「どですかでん」、「00年、第10回出光音楽賞受賞。

鶴井 良信(かめい よしのぶ) クラリネット

1976年名古屋市生まれ。9歳のときに父のほどきで、クラリネットを始める。桐朋女子高等学校音楽科卒業後、渡仏。「98年パリ市12区立ボール・デュカ音楽院を、「99年オーベルヴィエ・ラ・クールヌーヴー地方国立音楽院をいずれも満場一致の1位で卒業する。この間、クラリネットを鶴井良幸、横川晴児、鈴木良昭、ミシェル・アリニヨン、アラン・ダミアンの各氏に師事。「97年トゥーロン国際コンクール(クラリネット部門)スペディダム賞を受賞。「03年日本木管コンクール1位及びコスマス賞、朝日新聞社賞、兵庫県知事賞を受賞。フランスの作曲家、指揮者であるピエール・ブーレーズに認められ、フランスの騎馬オペラ団「ジンガコ」のスペクタクル「TRIPTIK」でソリストに抜擢、「99年~'02年の世界ツアーに出演する。「04年東京文化会館小ホールにて、第1回リサイタルを開催。これまでに、名古屋フィルハーモニー、関西フィルハーモニー、東京フィルハーモニー交響楽団と共に演。「04年、サイトウ・キネン・オーケストラに参加。現在、東京芸術大学非常勤講師。使用楽器: BUFFET CRAMPON <TOCA> (BbA管)



第4回 【東と西、時代を超えてみると?】

11月26日(土) 15:00 開演

鈴木俊哉(リコーダー) 中村仁美(筆篥) 通崎睦美(マリンバ)

■ソラージュ(14世紀フランス)
煙をくゆらせる者たち(リコーダー&マリンバ)
■作者不詳(15世紀イタリア)
高尚な驚、バス・ダンス(リコーダー&筆篥)
■J.ボールドウイン(16世紀イギリス)
「ウト、レ、ミ、ファ」に基づいて(リコーダー&筆篥)

■J.O.バッハ
主よ、人の望みの喜びよ または G線上のアリア(リコーダー&筆篥&マリンバ)

■石井真木
飛天生動 I (トリオ版、リコーダー&筆篥&マリンバ)

■野田雅巳
新作(アヒビール委嘱)(筆篥&マリンバ)

■佐々木冬彦
天国の扉ヘ(トリオ版、リコーダー&筆篥&マリンバ) ほか

